

猪瀬直樹委員提出資料 (参考資料)

平成14年10月29日

10月2日〔猪瀬から国交省へ質問〕

- 1、推計する場合は、最新のデータから客観的に求めるべき。
- 2、バブル前のデータ（1980～1993）から、いまの時代の傾向を見るのは不適切だ。
- 3、RateMAX（免許保有率最大値）は恣意的に「設定」するのではなく、直近のデータから推計するべき。

10月4日〔国交省からの回答〕

1、1980～1993のデータを使ってつくられた国交省モデルで2000年の免許保有率を推計すると、実績値とほぼ同様であるから、いまの時代においても十分に再現性が確保されている。客観的な推計である。

（国交省が「再現性が確保されている」という証明のために提出したデータ）

（5）1980年～1993年のデータによるモデルの現況再現性

25～29歳の免許保有率を推計する成長率曲線モデルのパラメータ推定に用いたデータ期間は1980年から1993年であるが、構築されたモデルを用いて2000年の免許保有率を推計すると、ほぼ実績値と同様であり、近年においても十分に再現性が確保されていると言える。

表 免許保有率の実績値と推計値
（第一種・普通免許、25～29歳、男女平均）

	実績値	推計値
1980年	62%	-
1981年	65%	-
1982年	68%	-
1983年	71%	-
1984年	74%	-
1985年	76%	-
1986年	78%	-
1987年	81%	-
1988年	82%	-
1989年	84%	-
1990年	86%	-
1991年	85%	-
1992年	85%	-
1993年	86%	86%
1994年	86%	86%
1995年	86%	87%
1996年	88%	87%
1997年	87%	87%
1998年	87%	88%
1999年	87%	88%
2000年	88%	89%

出所) 免許保有者数: 「交通統計(財団法人交通事故総合分析センター、1992年以前は財団法人全日本交通安全協会)」

人 口 : 国勢調査及び推計人口(総務省)

10月7日（猪瀬から国交省への質問）

※ 10月2日付け質問について、国交省が適切に答えていないため、再度、同じ質問をした。実績値と推計値のデータを①25-29歳、②16-24歳、③30-69歳、④70歳以上のそれぞれのバージョンを男女別に提出するように要求。

10月10日（国交省からの回答）

1、RateMAX（免許保有率最大値）は恣意的に「設定」するのではなく、直近のデータから推計するべき、という質問に対して――

（回答）RateMAX（免許保有率最大値）を推計したら、男性は0.99、女性は1.01になった。したがって、95%という上限の設定は高くない。

2、実績値と推計値のデータを①25-29歳、②16-24歳、③30-69歳、④70歳以上のそれぞれのバージョンを男女別に提出してほしい、という要求に対して――

（国交省が提出したデータ）

(2) 1980年～1993年のデータによるモデルの現況再現性
表3-2-3 年齢階層別免許保有率（第1種・普通免許）

年齢階層	1980年	1985年	2000年	2010年	2020年	2030年
①25～29歳	実績値	84.18%	86.47%	87.56%		
	推計値		86.52%	88.85%	94.60%	94.83%
②16～24歳	実績値	50.63%	59.85%	59.84%		
	推計値		54.46%	55.75%	58.77%	57.86%
③30～69歳	実績値	52.86%	60.23%	67.23%		
	推計値		58.38%	85.82%	79.30%	87.82%
④70歳以上	実績値	8.68%	11.41%	17.08%		
	推計値		9.69%	19.25%	29.87%	46.68%
合計	実績値	50.46%	55.84%	60.24%		
	推計値		55.20%	60.13%	68.88%	75.12%

出所) 免許保有者数(1990年、1995年、2000年)：交通統計（財）交通事故総合分析センター）
人口（1990年、1995年、2000年）：国勢調査（総務省）

注) なお、実績値については、データの制約により男女別がないため、男女平均を示す。また、推計値については5歳毎の年齢階層別であることから、現況値との比較については、1995年、2000年を、将来推計値については、推計年次である2010年、2020年、2030年を示す。

10月17日〔猪瀬から国交省へのデータ要求〕

※ 1980-1993の男女別免許保有率の実績値と1980-2000の国交省モデルにもとづく男女別推計値を要求。

10月21日〔国交省からの回答〕

(国交省が提出したデータ)

表5 男女別免許保有率の実績値と推計値(25歳~29歳、第一種・普通免許)

	男性		女性	
	実績値	推計値	実績値	推計値
1980年	77.55%	63.26%	46.04%	17.42%
1981年	80.14%	65.68%	49.95%	20.36%
1982年	82.09%	67.98%	54.22%	23.65%
1983年	84.09%	70.18%	58.89%	27.27%
1984年	84.63%	72.25%	62.60%	31.20%
1985年	84.05%	74.21%	67.11%	35.40%
1986年	85.68%	76.04%	69.20%	39.82%
1987年	86.33%	77.74%	72.14%	44.37%
1988年	86.16%	79.33%	74.48%	48.99%
1989年	86.53%	80.79%	77.35%	53.57%
1990年	88.22%	82.14%	80.05%	58.05%
1991年	86.90%	83.38%	80.72%	62.33%
1992年	87.50%	84.52%	82.96%	66.37%
1993年	87.55%	85.58%	84.29%	70.10%
1994年		86.50%		73.51%
1995年		87.36%		76.57%
1996年		88.14%		79.29%
1997年		88.85%		81.67%
1998年		89.48%		83.75%
1999年		90.06%		85.54%
2000年		90.58%		87.07%

出所) 実績値: 免許保有者数: 各都道府県警データ
人口: 国勢調査及び推計人口(総務省)

※また、1994-2001の免許保有率データを警察庁より入手したので、10月29日の委員会で新しく推計しなおした免許保有率を発表する、と回答。

10月22日〔猪瀬が第25回民営化委員会で提出した資料〕

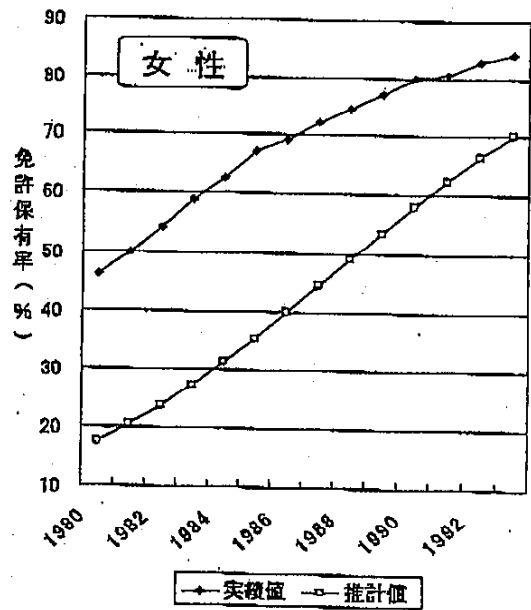
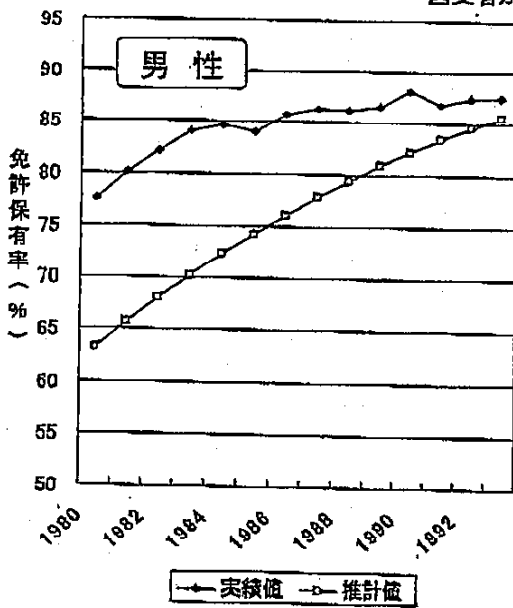
※ 国交省モデルは実績値と推計値とのあいだに大きな乖離がある。したがって、適切なモデルとはいえない。

国交省モデルによる推計値と実績値では、最大31%の乖離

男女別免許保有率の実績値と推計値(25歳～29歳、第一種・普通免許)

図2

—国交省からの回答より作成—



【出典】 2002年10月21日付「国交省からの回答」P.6〔表5 男女別免許保有率の実績値と推計値(25歳～29歳、第一種・普通免許)〕

10月21日〔猪瀬から国交省への質問〕

- 1、1980-1993のデータを使って、合理的モデル（国交省モデルと本質的に同じもの）を推計するように要求。
- 2、1980-2001のデータを使って、合理的モデル（国交省モデルと本質的に同じもの）を推計するように要求。

10月28日〔国交省からの回答〕

（回答）

- 1、1994-2001のデータを入手したので、この最新データも追加して、1980-2001の免許保有率を再計算した。すると、RateMAXは男性が0.882、女性が0.878となった。
- 2、1980-1993のデータを使って、合理的モデル（国交省モデルと本質的に同じもの）を推計せよ、という問いに対して――

（回答）RateMAXは男性が0.878、女性が0.906となった。

- 3、1980-2001のデータを使って、合理的モデル（国交省モデルと本質的に同じもの）を推計せよ、という要求に対して――

（回答）RateMAXは男性が0.882、女性が0.878となった。